

「迎えてくれる花たち」



日本遺産 出羽三山 月山・湯殿山 参詣道 本道寺口

出羽三山には、八方七口と云われて来た登拝するための登り口があって、かつてはそれぞれの所に寺院や宿坊街があり、宗教集落・宿場町を形成しておりました。この「高清水通り」は、そのうちの一つであり空海が開基した旧月光山本道寺（現口之宮湯殿山神社）からの参詣登拝道であります。

近年、「大黒森プロジェクト」の活動等を通じ、本通りにも関心が高まり、道標の設置や丁石（里程標）の調査など道普請（保全・整備）に取り組み、さらなる魅力づくりを進めております。

ありふれた景観ではありまじょうが、特有の霊気漂う聖地・丁石が点在しています。安全に十分留意され、素晴らしい古道トレッキングをお楽しみ下さい。

<丁石を探そう！>

起点記念碑から“元高清水”まで96体の丁石を安置したことが判明した。令和4年11月末現在、30体の現存を確認したものの66体は未確認である。

200年の時を経て探して欲しいと待っている！

高清水通り案内マップ

折々の季節 あなたを神秘と不思議の世界に誘う

この参詣道は 御山行者の拠り処
よろずの神仏が塔となり 五大に宿る

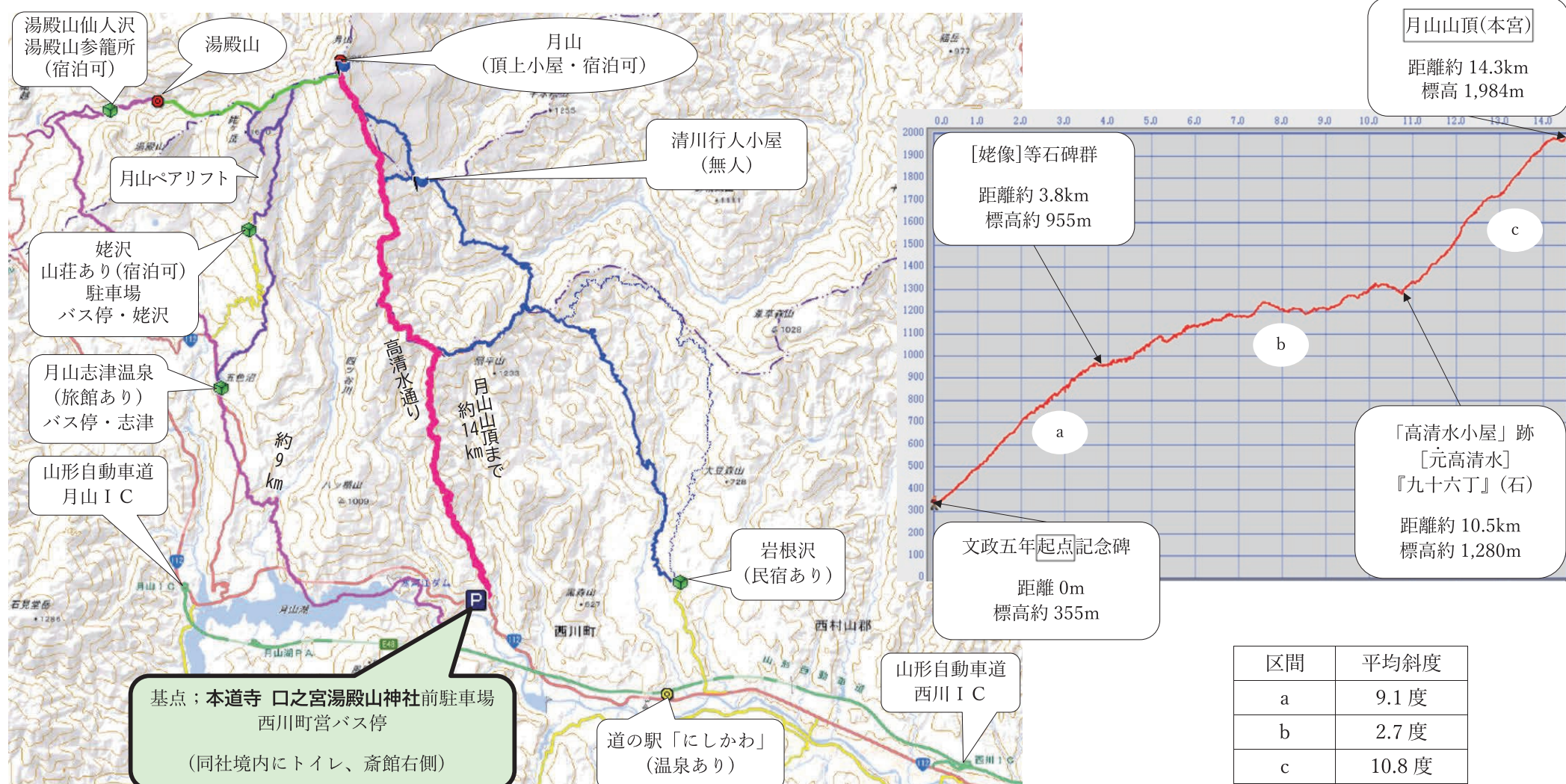
※ 地・水・火・風・空

人の本道探し旅



湯殿の道を踏みしめて どうあらん

【 月山・湯殿山往来 ― アクセスエリア 】



(※ 1) 月山山頂小屋は期間営業

(※ 2) 湯殿山往来は、高速バスと庄内交通送迎バスの組合せで期間運行

(※ 3) 姥沢行きの西川町路線バスは期間運行

(※ 4) 月山ベアリフトの運行は 4 月から 10 月までの期間運行

(※ 5) 志津温泉行きのバスは夏季と冬期の運行時刻が変更

(※ 6) 季節や社会情勢を踏まえた対応となることから事前に確認すること



大雪城ルート沿いに『天空石 橋』? <標高約 1,733m>



月山山頂と
後方北遠方に
鳥海山
<標高 1,984m>



胎内岩は大きな二つの
岩が寄り添い、間は潜り
抜けられる。岩の上部と
周囲には夥しい数の墓石
と供養碑が奉納されてい
る。

<標高約 1,878m>

ごだつし
御立石

<標高約 1,576m>

天を突くように急坂が続くが
大雪城はもうすぐ!



『高清水小屋』跡

〔元高清水〕

に現存する最終の
『九十六丁』(石)

<標高約 1,280m>



(起点に対する目的地)

横道分岐
(大きな二つのこぶ岩)

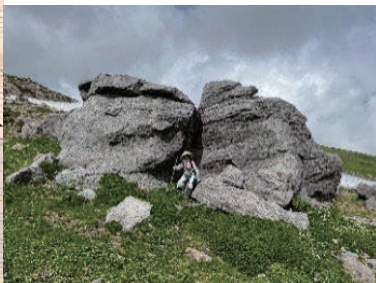


支え合う

『夫婦岩』?

(胎内岩よりも
大きい姿)

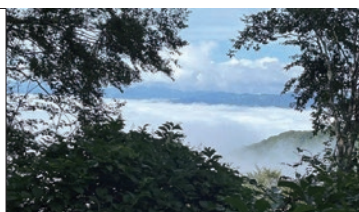
<標高約 1,796m>



ビューポイント～月山方面



ビューポイント～
西南方向
朝日連峰を望む



〔高清水〕道標と「五十九丁」
(文字に朱ベンガラが残色)
直ぐ北隣には枯れない清水



〔石船〕道標より
西側 15m に水場
意味深な舟!



〔姥像〕道標と石碑群

墓石 2 基、供養碑 1 基
「姥」像・「祖母神」像



現
存
す
る
最
初
の
丁
石

九

多
右
衛
門



(口之宮湯殿山神社境内東端)
「高清水通り 本道寺口」最初の道標

……
少し先に文政五年(1822)年建立
起点記念碑
『従是高清水迄九十六丁處』

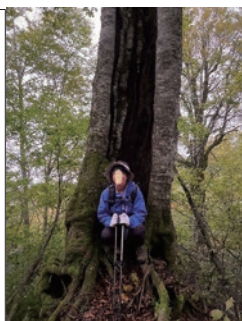


(注記) 国土地理院地形図を使用しているが、「カシミール 3D スーパー地形セット」(開発者 D A N 杉本氏) ソフトで記録したもの。

〔柴燈場〕道標 <標高約 1,307 m> 〔柴明場〕(護摩焚き祭場?)



悟りの窟行場?



ビューポイント
東方
右手の蔵王から
左手へ奥羽山脈



脳みそこぶ?



二股絡み?



〔夫婦清水〕道標と
「十三丁」
手前には
枯れない清水



『山神』碑



『山神』碑より
少し東南に
虚空蔵山碑

